



大部っ子

大部小だより

令和4年9月

「やさしく かしこく たくましく」－自ら学び、ともに生きる児童の育成－

文責：学校長

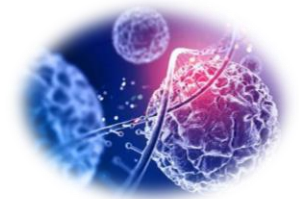


「成功する秘訣は“VW”だ。」

吉岡 優

皆さんは、[山中伸弥教授](#)をご存知でしょうか。[iPS細胞](#)の発見により、2012年のノーベル生理学・医学賞をジョン・ガードンと共同受賞した日本の科学者です。山中教授が若いころから座右の銘にしている言葉の一つに“VW”があります。90年代にポスドクに博士研究員として留学していた米グラッドストーン研究所の当時の所長から教えられた言葉、「Vision (ビジョン) & Work Hard (ワーク ハード)」です。「**長期的な目標を立て、それを実現するために一生懸命働く**」という意味です。

科学者としても、人としても成功するためには「一生懸命がんばる (Work Hard)」のはもちろんだが、「長期目標 (Vison)」を明確にすることが土台だ」と考えたそうです。以後、常にこの言葉を胸に仕事に取り組み、ついに2007年にはヒトの皮膚細胞からiPS細胞を樹立したのは1980年代にES細胞が樹立されて20数年後のことでした。それは長期目標として「**体細胞からES細胞(胚性幹細胞)に類似した幹細胞を作る**」を設定したことに始まるそうです。



さて、子どもたちは今、学校や地域でいろいろなことを学んでいます。が、「何となく勉強する。『しなさい』と言われるからする。」のではなく、「将来〇〇をしたい。〇〇を研究したい。」などしっかりとした目標を設定することで、学びの成果や成長が加速度を増すと考えています。ご家庭でも将来について、話し合う場を持っていただければ幸いです。

なお、iPS細胞の樹立には多くの研究者の尽力があり、そのチームワークの強豪さは素晴らしいものがあったそうです。PTA総会でもお話ししましたが、学校は今「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」を推進しています。iPS細胞は「一人ひとりが一生懸命働き、**チームで新しいモノを創っていく**」プロセスを経て誕生しましたが、私たちがめざす「[全和の日本型学校教育](#)」の学びにもつながるのではないのでしょうか。

プレイバック！7月の大部小



7月もたくさんの学びがありました。1日には5年生が**プログラミング学習**に取り組みました。神戸高専の上先生からリモートで学びました。また、同日**不審者対応訓練**を小野警察署員の方にご協力いただき、命を守る学習をしました。コロナの感染状況が落ち着いていたことから4日には**全校朝会**、11日には**児童朝会**を体育館で一堂に会して行いました。特に、委員会活動の報告等はしっかり行っていました。

5年生は10月に**4泊5日の自然学校**を予定していますが、実施に先立ちオリエンテーションを行いました。胸を躍らせながら、話を聞いていました。さらに、6月中旬から始まった水泳学習でしたが、通常の**泳力向上の学び**とともに、**着衣水泳**を行うことで、**自分の命は自分で守る**という学習に真剣に取り組みました。

なお、夏休みに入った26日。運動場の西側にあった**ポプラの木**ですが、虫食いがひどかったようで倒木の可能性もあったことから伐採を行いました。思い起こせば、私（校長）が小学生だったころからあったと記憶しています。保護者の中にも覚えていらっしゃる方がおられるかもしれません。半世紀以上もこの大部小学校と多くの子どもたちを見守ってくれていたポプラがなくなるのは寂しい思いではありますが、もし、倒れて誰かがけがをしても大変ですのでやむをえません。

夏休み作品展

第7波といわれる新型コロナウイルスの感染拡大。PCR陽性者数の推移が高止まりをみせている昨今です。新型コロナはとても厄介なウイルスで、気を抜いているといつの間にか私たちが危険にさらすので、困ったものです。ですから、私たちは今まで同様、いや今まで以上に新型コロナ感染症対策をしっかりとやっていきたいところです。

さて、8月下旬公開を予定していた「夏休み作品展」。残念ながら、コロナのため保護者の皆様には直接見ていただくことが叶いませんでしたが、どれも力作ぞろいで、素晴らしい作品展となりました。そこで、「オンライン夏休み作品展」として<大部小だより（デジタル版）>にアップしますので、ご期待ください。

